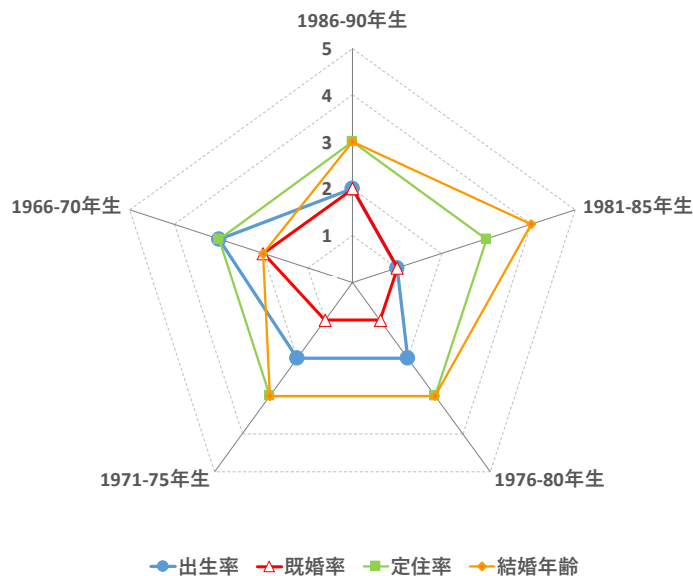


## (14) 五泉市

### ①出生に関する総合評価

図14-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

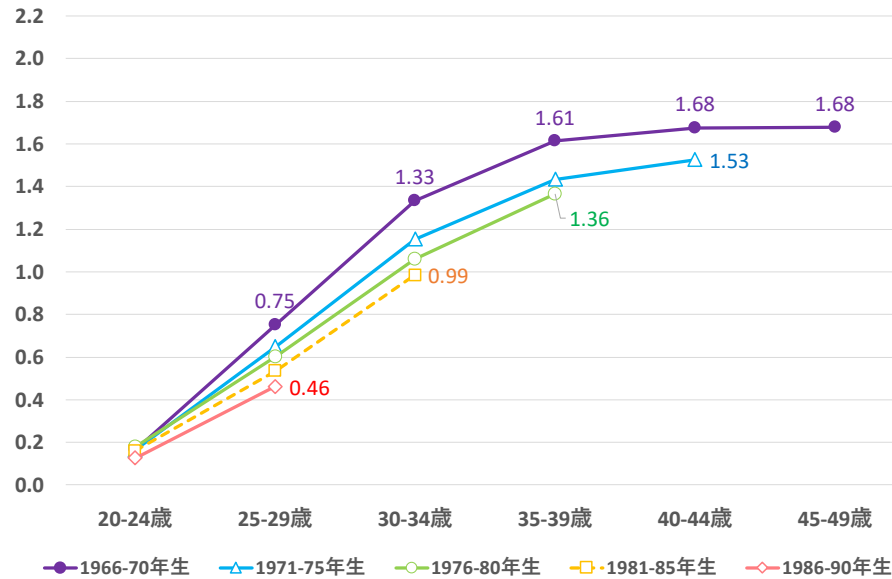
1. 合計出生率は、1981-85年生まれは最下位であるが、1971-75年生まれ、1976-80年生まれ、1986-90年生まれは下位、1966-70年生まれは中位である。
2. 女性既婚率は、1971-75年生まれから1981-85年生まれまで最下位であるが、1966-70年生まれと1986-90年生まれは下位である。
3. 女性定住率は、すべてのコホートで中位である。
4. 女性結婚年齢は、1966-70年生まれは下位、1971-75年生まれ、1976-80年生まれ、1986-90年生まれは中位、1981-85年生まれは上位である。

### 【総合評価】

1. 五泉市では、全コホートで定住率と結婚年齢が中位程度であるが、女性既婚率は全コホートが下位以下であり、1970年代生まれと80年代前半生まれは最下位である。そのため、合計出生率も1970年代生まれ以降のコホートでは下位か最下位に属している。
2. 1980年代生まれコホートの女性既婚率は、1970年生代生まれ以前よりさらに低下傾向にあり、特に80年代後半生まれコホートの25-29歳までの女性既婚率と合計出生率が目立って低下している。
3. 子どもが産まれる確率が最も高い25-34歳の出生数は、1970年代後半から1人を下回っており、80年代前半生まれは0.8人強まで減少している。今後1人以上を回復できるかは30歳代でのキャッチアップがどの程度達成できるかに依存する。

## ②コホート合計出生率

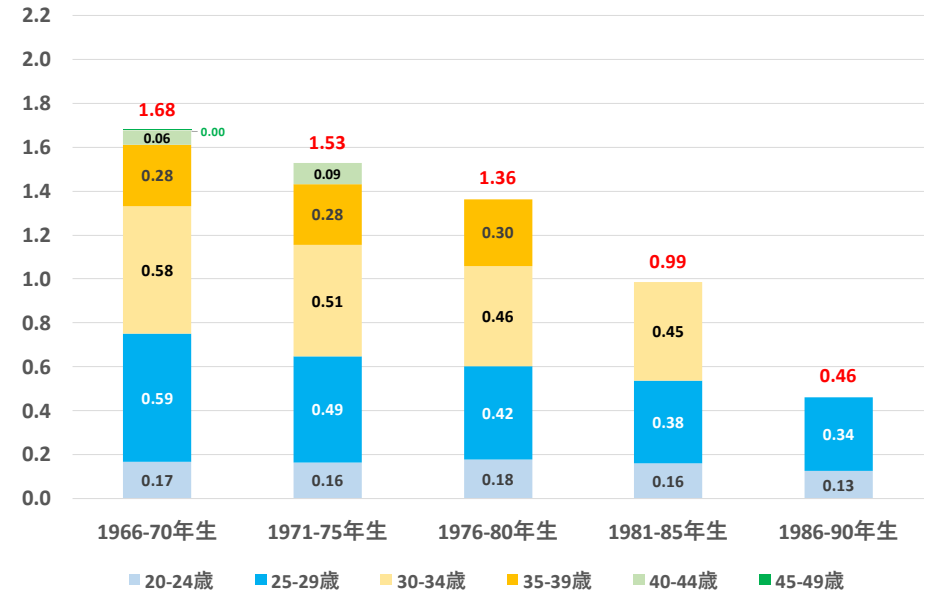
図 14-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 14-2 は、五泉市のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に合計出生率の大きな低下がみられる。
- ・ 1976-80 年生まれ以降のコホートでは 25-29 歳以降の合計出生率がさらに低下している。

図 14-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

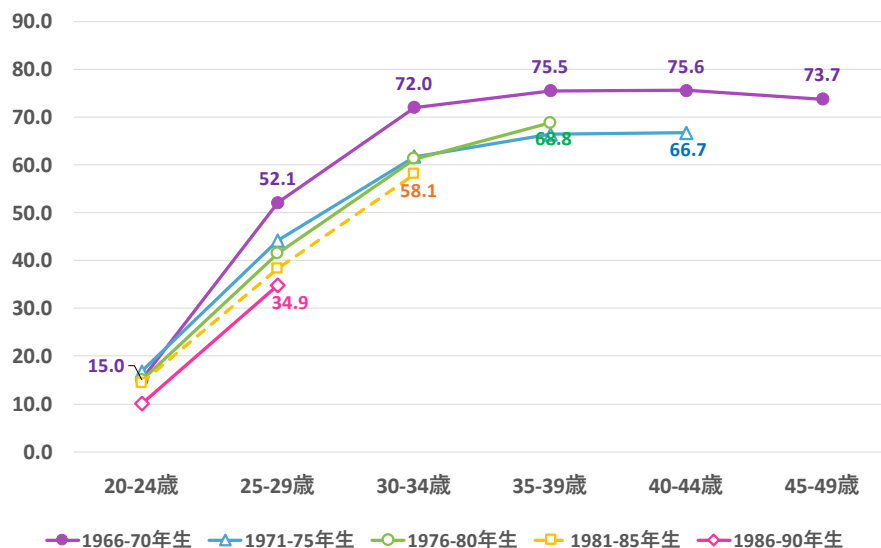


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 14-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.76 人に対して、1986-90 年生まれは 0.47 人に減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.86 人に対して、1976-80 年生まれは 0.76 人に低下している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が著しく低下しているが、30 歳代でも 1966-70 年生まれから 1 人が生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1976-80 年生まれから 1 人を下回っており、1981-85 年生まれは 0.83 人に減少した。

### ③コホート別既婚率

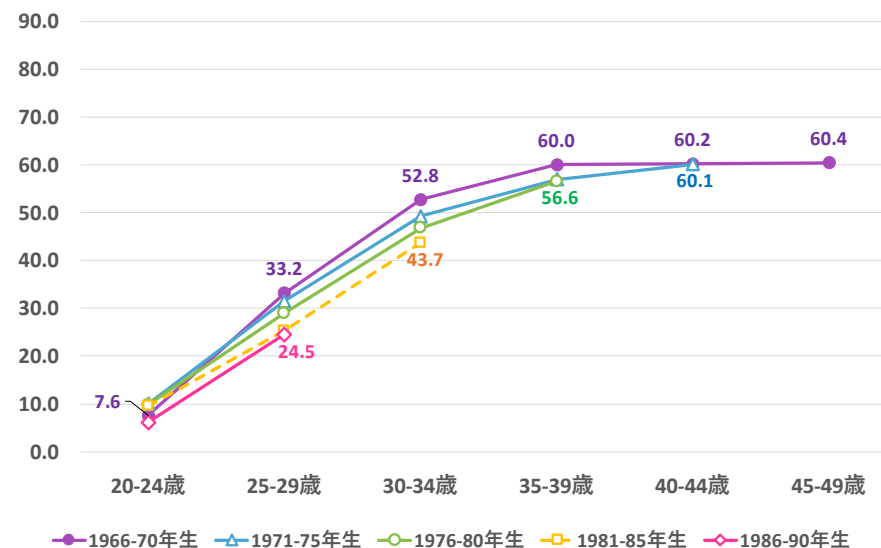
図 14-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 14-4 はコホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 52.1%から 1986-90 年生まれは 34.9%へと 17.2 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 75.5%から 1976-80 年生まれは 68.8%へと 6.7 ポイント低下している。

図 14-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

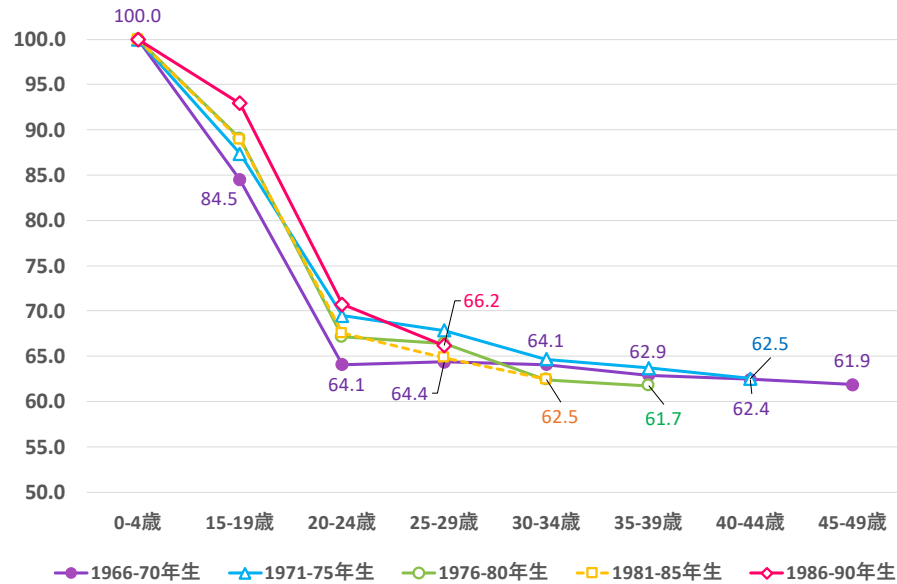


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 14-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 33.2%から 1986-90 年生まれは 24.5%へと 8.7 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 60.0%から 1976-80 年生まれの 56.6%に 3.4 ポイント低下している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 60%台後半から 70%台前半に達するが、男性は 60%程度に止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

④コホート別定住(残存)率

図 14-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

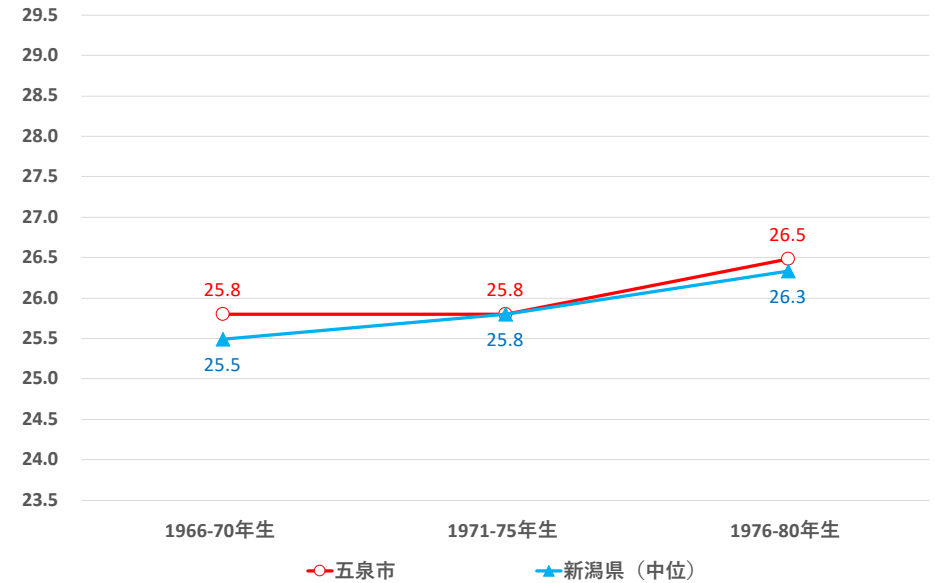


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 14-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの64.4から1986-90年生まれは66.2に1.8ポイント上昇しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの62.9から1976-80年生まれは61.7に1.2ポイント減少している。
- ・ 五泉市では、25-39歳時でみると、年齢とともにゆるやかに低下する傾向があるが、コホート間の定住率の低下は見られない。しかし、どのコホートも0-4歳時点の60%台前半から半ばの水準に減少している。

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 14-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

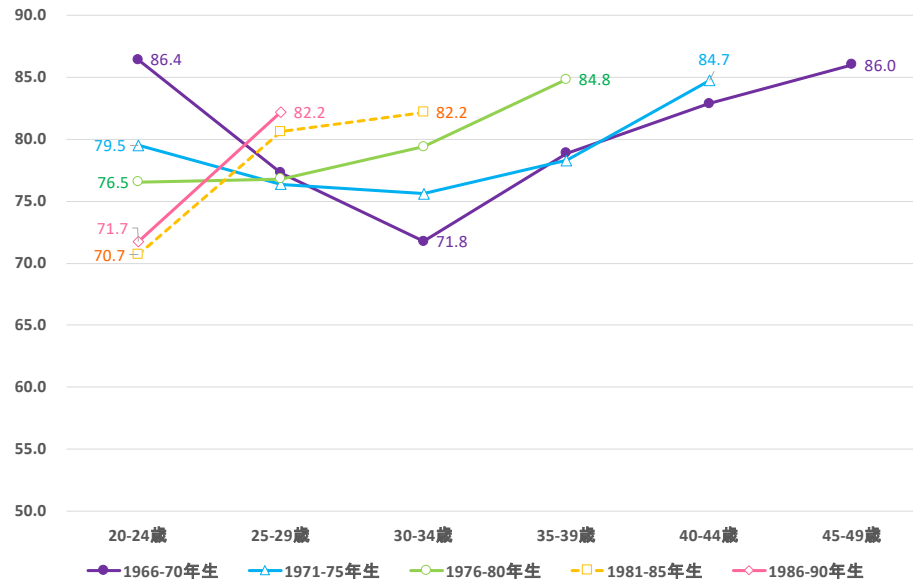


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 14-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.5歳、25.8歳、26.3歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.7歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は24位と県内自治体と比較すると遅かったが、1971-75年生の県内順位は15位、1976-80年生は19位と県内平均(中位)程度となった。

⑥コホート別女性就業率

図 14-8 コホート別女性就業率 単位：%

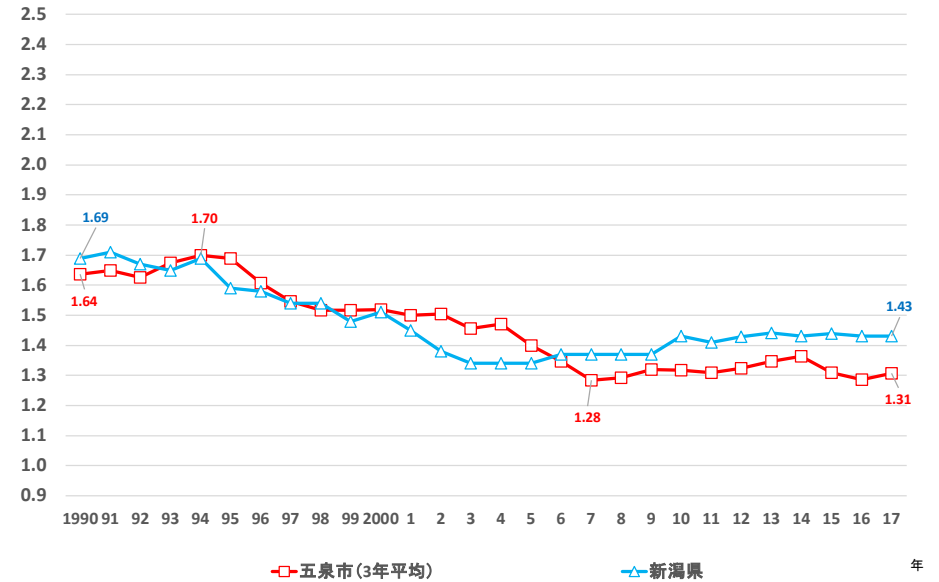


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 14-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれのコホートは低下しているのに対し、それ以外のコホートでは上昇している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると 1966-70 年生まれは 71.8%であったのに対して、1981-85 年生まれは 82.2%に上昇している。
- ・ 1970 年代前半生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1970 年代後半生まれ以降では 30-34 歳時点で M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 14-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 14-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と五泉市（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降で見ると、1990 年から 2000 年までの五泉市の期間合計特殊出生率は新潟県平均とほぼ同水準で推移してきたが、2006 年以降は常に新潟県平均より低く、期間平均では 0.02 ポイント低い。
- ・ 五泉市の期間合計特殊出生率は、1994 年の 1.70 をピークに低下してきたが、2007 年の 1.28 を底にわずかに改善し、2014 年には 1.36 まで改善したが、2017 年には 1.31 に低下している。